

まったく驚く 無關心な家庭

火災予防検査結果から

市の消防本部では、秋の火災予防運動の行事として、各家庭の火防立入り検査を行いました。市民の防火思想は必ずしも高められるものではなく、春からみれば、かえって不備が多くなり、特にストーブの不備ともなう「メカ石の不備」が「ストーブや煙突に燃えやすいものを近づけておいて」る「やぶれた外煙突をつかっている」など、無關心になされておりました。

完全受検に今一歩

計量器の検査結果

九月二日から六日間に全市の計量器の検査を行いました。その結果次のような数字が出ました。

- 一、受検予想戸数 四四〇戸
- 二、受検率 九二%
- 三、検査成績
 - 四〇六 (四〇三)
 - イ、検査成績
 - 五、二〇八 (四九三)
 - ロ、不合格箇數
 - 三三〇 (三三三)
 - ハ、不合格率
 - 六、一 (四、六)

世帯内の異動は

生れたとき、亡くなったときなど戸籍係へ届出するのと同時に、商工係にも届けて下さい。届出忘れのため、次のようなことがおこりました。

イ、生れた子供を届け忘れたため、健康保険の家族として認められなかった。結婚したが届け忘れたため、会社に扶養手当の対象にならなかった。

ハ、農家で嫁をもらつたが届けないため保有米の計算上、家族の數に入らず損をした。この例は特に多く、父と子が台帳に記入されているが、母がまだ実家にこのついでと、死亡した届けがなかったために、通帳にいつまでも記入され、生きていくことになつていく。

完全受検に今一歩

九月二日から六日間に全市の計量器の検査を行いました。その結果次のような数字が出ました。

- 一、受検予想戸数 四四〇戸
- 二、受検率 九二%
- 三、検査成績
 - 四〇六 (四〇三)
 - イ、検査成績
 - 五、二〇八 (四九三)
 - ロ、不合格箇數
 - 三三〇 (三三三)
 - ハ、不合格率
 - 六、一 (四、六)

まつたくゼロであるのには驚きました。署ではさらにこの期間中に大建築物についてもこの検査を行い、万全を期することになつておられます。

お互に他人のことではないのです。

風呂場や外煙突はやぶれていないものを取りつければ、ストーブや煙突にはおなじみの近づけておかないようにしよう。是非メカ石をつけよう。電気器具はつかいおわつたらすぐスイッチをきりましょう。

九月二日から六日間に全市の計量器の検査を行いました。その結果次のような数字が出ました。

- 一、受検予想戸数 四四〇戸
- 二、受検率 九二%
- 三、検査成績
 - 四〇六 (四〇三)
 - イ、検査成績
 - 五、二〇八 (四九三)
 - ロ、不合格箇數
 - 三三〇 (三三三)
 - ハ、不合格率
 - 六、一 (四、六)

移務所の課の

移務所は側面支関から経済課は正面支関からお入りになつていただけよいわけですね。

留萌夜ばなし

私の父は、急いで歸つてから學校へ行くと、母が泣いておられた。父は、近州の注文とりに農家を返つて歩きました。

油売りと云つても決して遊ぶことのないときで、留萌川が今の歸郷路から内港のこの遊園地のようにウネウネと流れて、積荷の川口に五〇六〇隻位の前船が所狭しと入つて文字通り槽柱林立と云う様で、これは小樽まで内地から米や味噌、醤油その他日用雑貨品を積んで定期船が入り、それを小型の汽船に積替えて増毛、留萌、苫前、天売、焼尻、利尻、禮文と廻つて天塩迄行つてこれらのもつと内地にもつて行く沿岸海産物との物々交換をしてきたものでした。その当時は鐵道もなく、道路も全くなかったもので、沿岸の人達は増毛、留萌、天塩の間を何処までも海岸沿いに馬にゆられながら、歩いたもので、留萌も今築港したもので、渡道して身を立てる考えて留萌に來た。

馬ふん受器を

市では「秋の清掃運動」の重要行事として、受ふん器(馬ふん受器)の取り付けをお願いしました。

市では引続き取付指導を実施いたしますが、市民お互いの道路です。いづれから馬ふんが落ちて、馬ふんを落したら必ず始末して下さい。

(厚生課)

無事で... 帰港をまっています



海難防止運動

留萌市勢回顧表

二回

- 〇(酒原家) 續き
- 以来酒原家は天塩沿岸漁業の振興に努め、寛政元年頃からは遠く内地人を移住させた。當時は沿岸一帯うつろたる樹木海に迫り、畫問向を置く魚介の豊富なること網を結ばずして此れを漁るを得たりと傳えられる。
- 〇六代目酒原角兵衛松前藩から天塩一円を命ぜられた。
- 〇三代村山傳兵衛、藩から感謝状をうける。
- 〇間宮林蔵西蝦夷の実測を完了したので留萌の地に足跡を印したはずである。
- 〇幕府の目付遠山四郎景普勘定吟味役村垣左大夫等西蝦夷地視察のみぎり留萌を通り日記中に記載している。
- 〇遠山村垣等西蝦夷踏査直後増毛留萌宗谷を結ぶ海岸道路に交通のため馬を配布された。
- 〇留萌場所支配人山田屋文右衛門が留萌場所から山を越え石狩川筋(今の雨龍橋)兩郡境界)に出る、延長二十五里の難道を蝦夷に使役して開き、増毛と留萌に努めた。
- 〇留萌地方一帯に亘る西蝦夷地は久しく支配者であつた松前氏の手をなされて幕府直轄地として新生するに至つた。この西蝦夷地の産業として特筆すべきものは漁業であつた。この時代には伊達林右衛門が増毛漁場の請負を始め留萌漁場の請負人酒原小右衛門が焼尻漁場を請負つていた。
- 〇六年 文政四年末幕府蝦夷地を松前氏に還付、留萌地方も松前藩に歸屬する事になつた。然し漁場の請負制度には變化がなかつた。
- 一三三 留萌漁場の漁場請負人名及び運上金高次の如し。
- 請負人 酒原辰人 運上金 千五百兩(但し鮭二千石以下)
- 註 その他の内に米三百俵とあり當時既にこの地方に水稻の作付を見ていると思われ。
- 〇鶴盛方に漁獲する。漁具は刺網、曳網、角網(漁獲高年五百石位)
- 〇増毛場所請負人伊達林右衛門、留萌場所請負人酒原辰人の出稼許可願により、ここに始めて増毛以北に和人の出稼が公許される事になつた。おそろくこの頃から留萌漁場にも多數の移民を迎え、しかも彼等を土着させて留萌の發展に一新時期を画することになつた。このため留萌地方のニシン漁は未だ有るの發達を招き、その産額も増加し従来干製だけであつたニシン処理に油揚げが新しく行われ、全国各地に移出された。
- 〇夷人小屋六、七軒総て此処公料前八二五、六百人ナリ由、タニ今ハワズカニ二、三百人ナリハ絶エバセント思ハル。
- (弘化三年 松浦弘「再航蝦夷日記」)

寛政	二	〇三代村山傳兵衛、藩から感謝状をうける。
文化	二	〇間宮林蔵西蝦夷の実測を完了したので留萌の地に足跡を印したはずである。
文化	二	〇幕府の目付遠山四郎景普勘定吟味役村垣左大夫等西蝦夷地視察のみぎり留萌を通り日記中に記載している。
文化	二	〇遠山村垣等西蝦夷踏査直後増毛留萌宗谷を結ぶ海岸道路に交通のため馬を配布された。
文化	二	〇留萌場所支配人山田屋文右衛門が留萌場所から山を越え石狩川筋(今の雨龍橋)兩郡境界)に出る、延長二十五里の難道を蝦夷に使役して開き、増毛と留萌に努めた。
文化	二	〇留萌地方一帯に亘る西蝦夷地は久しく支配者であつた松前氏の手をなされて幕府直轄地として新生するに至つた。この西蝦夷地の産業として特筆すべきものは漁業であつた。この時代には伊達林右衛門が増毛漁場の請負を始め留萌漁場の請負人酒原小右衛門が焼尻漁場を請負つていた。
文化	二	〇六年 文政四年末幕府蝦夷地を松前氏に還付、留萌地方も松前藩に歸屬する事になつた。然し漁場の請負制度には變化がなかつた。
文化	二	一三三 留萌漁場の漁場請負人名及び運上金高次の如し。
文化	二	請負人 酒原辰人 運上金 千五百兩(但し鮭二千石以下)
文化	二	註 その他の内に米三百俵とあり當時既にこの地方に水稻の作付を見ていると思われ。
文化	二	〇鶴盛方に漁獲する。漁具は刺網、曳網、角網(漁獲高年五百石位)
文化	二	〇増毛場所請負人伊達林右衛門、留萌場所請負人酒原辰人の出稼許可願により、ここに始めて増毛以北に和人の出稼が公許される事になつた。おそろくこの頃から留萌漁場にも多數の移民を迎え、しかも彼等を土着させて留萌の發展に一新時期を画することになつた。このため留萌地方のニシン漁は未だ有るの發達を招き、その産額も増加し従来干製だけであつたニシン処理に油揚げが新しく行われ、全国各地に移出された。
文化	二	〇夷人小屋六、七軒総て此処公料前八二五、六百人ナリ由、タニ今ハワズカニ二、三百人ナリハ絶エバセント思ハル。
文化	二	(弘化三年 松浦弘「再航蝦夷日記」)